

企業誘致と工業団地（明政会）

問 福山北産業団地は70%を販売済みであるが、50万都市を標榜する本市にとって、さらなる発展の基礎的要素として工業団地の確保も必要な条件である。新たな工業団地造成と、市外企業が進出しやすい環境づくりについての考えは。

答 新たな産業団地の確保については検討する必要があると考えており、立地環境や需要予測に応じた規模、計画から分譲開始までの施工期間の短縮など、企業ニーズに即した取り組みが必要と考える。また、産業活性化プログラムに沿って企業誘致の実現に努める。

若者の就労支援（公明党）

問 安定した雇用機会を得にくいという経済的理由が晩婚化・非婚化を促進しており、安定した就労こそ次世代形成の土台である。若年者に対する職業観の啓発や就労支援が求められるが、現在の取り組みと今後の計画、相談体制は。

答 若年者就労相談業務や若者しごと館福山サテライト事業をはじめ、若年者求職支援セミナーお



ひろしま若者しごと館 福山サテライトの就労相談の様子（福山駅サントーク内）

よび学生に職業観を養ってもらう若年者職業観醸成事業などに取り組んでいる。今年度新たに、ニート、フリーターや家族を対象としたセミナーを計画し、関係機関と連携し若者の就労支援に取り組む。

◇関連質問

・若者の雇用問題と格差社会

（市民連合）

観光行政について（水曜会）

問 本市には、ばら祭等のイベント、各地域の祭りや名所旧跡、文化財などが多数あり、それぞれを結んだ観光ルートの設定や有機的関連性をもったPRが必要では。

また、これからの観光行政は、体験型および宿泊滞在型の観光施策が重要と考えるが、このような施策の取り組みは。

答 観光ルートは、資源を整理し、区域・テーマ・季節別に組み合わせるなど、総合力を発揮できる魅力あるルート設定を検討し情報発信する。体験型および宿泊滞在型の観光は、横島の底引き網体験や仙酔島の宿泊体験型観光があるが、今後はニーズに対応した観光施策についても検討していく。

がん対策について（公明党）

問 がん対策基本法案の成立により、本市のがん対策にどのような効果が期待できるのか。また、放射線治療の専門医や医療従事者の確保・育成および緩和ケアの取り組みについての見解は。

答 予防・早期発見の対策として喫煙や生活習慣の改善、検診の質や受診率の向上などに積極的に努めてきたが、法案の成立で、より効果的な取り組みができるようになる。市民病院では、いち早くCT一体型の放射線治療装置を導入し、専門医を確保。緩和ケアについても専門の医師を確保し、病棟

をオープンしている。

移植医療への理解の促進（誠友会）

問 全国に約13000人の腎臓移植待機患者がいるが、行政としても移植医療に対する正しい知識を広める取り組みを検討してはどうか。ドナーカード（臓器提供意思表示カード）の普及だけでなく、本当の意味での「提供できる意識づくり」についての市民への意識啓発は。



ドナーカードと運転免許証にはった臓器提供意思表示シール

答 移植医療に対する知識の普及については、市のホームページや公民館・図書館にて啓発に努めている。ドナーカードについては、公共施設の窓口や成人式で配付し